

科目名		テーマ		
地域経済		地域経済の基礎と地域開発政策との連関及び時流の変化を理解する。		
担当者名	配当年次	単位数	学科	選択・必修 / 指定科目
上遠野 和村	1	2	経済情報学科	選択 / 教職課程科目 (公民)

[授業の内容・到達目標]

【授業の内容】

私たちは今の暮らし・日常生活がずっと前からあるあたり前のものと思いがちです。車を持ち大型ショッピングセンターで買い物をする。高速道路を走る。東北新幹線に乗る。どこにいても携帯で話ができる。インターネットを使う。でも、それらが暮らしの中であたり前になったのはここ10年～30年前のことです。戦後の日本経済・地域経済の成長から時代を重ねて来て、今の暮らしになったのです。時代の潮流や時代の変化を頭に置く必要があります。

このような今の暮らしを支えている地域経済は、経済のグローバル化の中で企業の海外進出や経済成長著しい発展途上国からの製品・半製品の輸入による産業空洞化、地域産業の低迷など大きな変化の波を受けています。一方で、経済のグローバル化が進めば進むほど、生活単位レベルで地域の重要性がクローズアップされてきているともいわれています。

この授業では、まず、戦後の経済成長が地域経済をどのように変え、私たちの身近な暮らしをどのように変えてきたのかを振り返ります。そして、地域経済の発展と産業立地に関する基礎的な理論を解説し、国の国土開発政策が地域でどのように展開され、地域経済にどのような影響をもたらすのか、またこの間の福島県やいわき市の地域政策はどうであったのかを説明します。

【到達目標】

- ・地域経済は国土開発政策や地域政策とどう連関するのかを理解するとともに、時代の潮流や時代の変化を読む力を身につける。
- ・地域社会活動や企業活動を行ううえで必要とされる地域経済の基本的知識を習得する。

[授業方法]

- ・レジュメ等配布資料に基づき講義する。
- ・事前の学習については、配布資料、参考文献の学習範囲を授業の中で示すこととする。
- ・授業終了時に、よく理解できなかったこと及び質問があれば、任意の用紙に記入の上、提出してもらう。

[成績評価の方法]

授業への参加態度	20%
学期中間の授業時間外レポート	20%
期末試験	60%

[テキスト]

配布するレジュメ・資料により講義する。

[参考文献]

「国際化時代の地域経済学 (第3版)」 岡田知弘他著

有斐閣アルマ

「地元学のすすめ」 下平尾勲著

新評論

「地域経済学入門」 山田浩之他著

有斐閣コンパクト

[履修上の注意・その他]

- ・授業中の注意事項は、カリキュラム説明時に伝える。
- ・地域経済関係の社会問題あるいは時事的問題が生じた場合などには、授業内容の一部を変更する場合がある。

[授 業 計 画]

実 施 回	内 容
1	『地域経済』を学ぶにあたって」及びカリキュラムの説明 地域とは 地域経済とは 地域産業連関
2	戦後の経済成長と暮らし（生活スタイル）の変遷① 全国と福島県 産業構造（就業構造） 地域構造 生活様式・スタイル
3	戦後の経済成長と暮らし（生活スタイル）の変遷② いわき市 「いわき市」の成りたち 産業構造（就業構造） 生活様式・スタイル
4	地域経済成長の理論 移出基盤成長論 均衡成長論と不均衡発展論
5	産業立地の理論 原材料 労働力 地域的集積 企業行動と立地変化
6	地域開発政策の検証① 戦後・国土総合開発法前後 傾斜生産方式と常磐炭鉱 電源開発と奥只見電源開発
7	地域開発政策の検証② 全国総合開発計画（全総） 「地域間の均衡ある発展」 拠点開発方式 国民所得倍増計画 新産業都市建設
8	地域開発政策の検証③ 第2次全国総合開発計画（新全総） 「豊かな環境の創造」 大規模プロジェクト構想 広域市町村圏 日本列島改造論
9	地域開発政策の検証④ 第3次全国総合開発計画（三全総） 「人間居住の総合的環境の整備」 定住構想 テクノポリス構想
10	地域開発政策の検証⑤ 第4次全国総合開発計画（四全総） 「多極分散型国土の構築」 交流ネットワーク構想 リゾート開発
12	地域開発政策の検証⑥ 21世紀の国土のグランドデザイン 「多軸型国土構造形成の基礎づくり」 「参加と連携」と「4つの戦略」
13	福島県の地域政策と地域経済の変遷 新産業都市指定 テクノポリス指定 ふるさと創生 7つの生活圏構想 首都機能移転
14	いわき市の地域政策と地域経済の変遷 小名浜港開発 新産業都市指定 多様な工業団地集積 小名浜ウォーターフロント再開発
15	3・11大震災・原発事故からの復興 まとめと展望